

西区ブロック 後藤 光恵さん
 昨年6月より理事になり、6ヶ月が過ぎました。まだ理事の役割がよくわからない状況ですが、運営委員さんや組合員さんと一緒に「たまり場」や支部、ブロックの企画を継続して行い、仲間増やしにつなげていきたいと思っています。



あじまブロック 鈴木 久美子さん

あじまブロックの全支部で、たまり場が開催できて、そこで組合員さんや地域の方の声を聞き取り、より一層身近なあじま診療所・あじまの家にしていきたいと思っています。



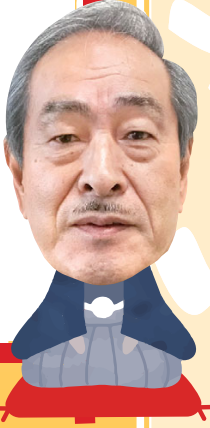
新年 謹賀



わたしたちの抱負

明けましておめでとうございます。
 新しい年を迎え、組合員に今年の抱負を聞きました。
 今年もどうぞよろしくお願ひします。

わかばブロック 小椋 久男さん
 新しい年を迎えて最近の国の政治を見ていると腹の立つ事ばかりです。嘘と誤魔化し隠蔽、国民を馬鹿にするのもいい加減にしろと言いたくなります。社会保障の切り捨て、消費税の増税、高すぎる国民健康保険料、私達の生活は厳しくなるばかりです。そんな社会の中でもみんなで楽しく助け合って行こうという北医療生協の理念を柱に、ブロックみんなで頑張っていきたいと思っています。



北病院ブロック 西部 恵子さん
 次男が生まれて3ヶ月目に北病院で、心臓の病気が見つかりました。毎週発熱で、不安ですぐ病院に行き、夜中でも診てくれました。本当にありがたかったです。医者顔を見て、話を聞くと安心するんです。これからも安心出来る北病院でいて欲しいです。そのために理事として全力で関わっていきたいと思っています。



もりやまブロック 長畑 千代子さん
 今 大きな困難に立ち向かうとき北医療生協に関わる人全員がONE TEAMとなって乗り越えれば明るい年となることを願っています。皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。



東部準備ブロック 荒木 照世さん
 多重介護、老老介護での胸の痛む「悲劇」の報道。「2025年問題」こういう時こそ「みんなで出資、利用、運営する」「地域まるごと健康づくり」の医療生協の出番です。東部準備ブロック内での診療所・介護関連施設の運動を一步でも前進させることです。多くの組合員参加で楽しい班会、サロン、健康チェック、相談活動、学習会、健康まつり等地道に明るく元気に取り組んでいきたいです。



組んで頑張っていきたいと思っています。

昨年ラグビーワールドカップは本当に興奮しましたね。今まで知らなかったラグビー用語が日常に溢れていました。例えば「ワンチーム」。この言葉を聞くと「一人は万人のために、万人は一人のために」という生協の理念を思い出します。医療費削減や社会保障費削減の影響は、患者の負担増や受診抑制となり、外来や入院の減少をもたらし、医療機関の経営を圧迫するものとなっています。私が北病院に初期研修をはじめたのが1983年。この年、山梨勤医協倒産のニュースが全国を駆け巡りました。病院が倒産するなんて信じられない、と言われたときです。それから35年以上が経ち、当たり前のように病院の倒産が報じられます。83年当時、中曽根首相による臨調行革路線が始まり、医療の自己負担が増え、国民の力で勝ち取ってきた老人医療費無料も年々改悪されてきました。少子高齢化と一口にいつても「少子」と「高齢化」とは別の問題だと言った大臣がいました。出産数が減り子ども人口が減る「少子」と、医学の進歩で寿命が延び「高齢者」が増える高齢化とは別の問題ではあります。しかし、その根っこは、子どもを産み育てることが困難になり、その結果高齢化が進む、福祉社会保障をおさなりました今の国の政策にあります。一人一人がいきいきと暮らせるまちづくり、医療生協が輝くことが出来る2020年にするために、皆さんとスクラムを組んで頑張っていきたいと思っています。

新年明けましておめでとうございます。

近藤 知己

北病院病院長 副理事長

